＃未来へつなぐ子育て応援宣言のまち

広報

いずもざき11月号

令和8年

2026

#.618



多世代交流館きらり
来館者数5万人達成！

■巻頭:P2~3　出雲崎中学校　体育祭

■topics&information:P4~
・ずっといずもざき
・出雲崎の未来を一緒に考える人　vol3　ほか

■記者は見た:P16~19
・出雲崎まんぷくまつり
・きらり　ハロウィン縁日　ほか

出雲崎中学校体育祭



「解き放て！出中Ｐａｓｓｉｏｎ」

９月25日㈮に出雲崎中学校で、体育祭が行われました。生徒たちの元気な姿と相まって、絶好の体育祭日和となりました。体育祭スローガン「解き放て！出中Passion」のもと、競技や応援に全力で取り組み、仲間と声を掛け合いながら、一人ひとりが持てる力を存分に発揮しました。普段は見られない生徒たちの一面や、仲間と力を合わせて最後までやり遂げる姿に、保護者や地域の方々も成長を感じている様子でした。会場にはたくさんの声援と笑顔があふれ、生徒たちの熱い思いが伝わる一日となりました。



応援合戦







































ずっといずもざき ～GOOD AGING IZUMOZAKI～

保健福祉課 介護高齢係 ☎0258-78-2293

第10期計画中に目指す町の姿

【基本理念】いままでも、これからも、私らしく暮らし続けられる出雲崎
～年を重ねることに誇りを持ち、いきいき輝く高齢者～





1. 誇りある人生が送れるように
①自分らしく暮らせるための自立支援と重度化防止を支援します
②自分に合った場に参加し、活躍している方が増えるように体制を整えます

2.自分らしい暮らしが継続できるように
①在宅療養を支える多様な医療・介護サービスを充実させます
②一人一人の状況にあったサービス利用を促進します

3.暮らし続けられるまちであるために
①自助・互助・共助・公助がバランスよく連携したまちづくりを推進します
②認知症になっても暮らし続けられるまちづくりを推進します
③高齢者の権利擁護を支援します
④地域包括ケアシステムを支える業務体制を確保します

楽交（がっこう）のお知らせ

月1回、ふれあいの里地域交流室（旧出雲崎町デイサービス）で、高齢者の交流の場「楽交」を開催しています。出入り自由です。お友達とお誘い合わせてお越しください。

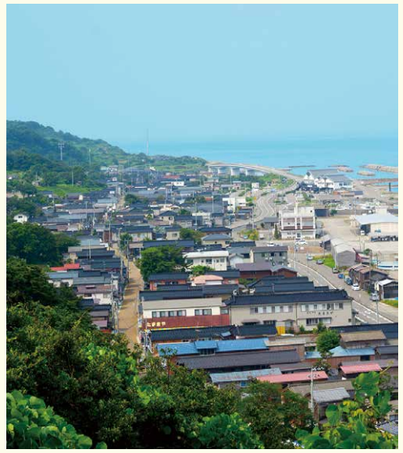
	午前（10:00～12:00）	午後（1:00～3:00）
11月９日（月）	○ミニお茶会 お抹茶（薄茶）とお菓子をいただきながら、楽しくおしゃべりしましょう。（参加費1人500円）	自分の体の状態を知ろう ○耳マッサージ １回500円 ご希望で耳つぼジュエリーも付けられます。（1粒200円） ○姿勢チェック １回500円 身体の上手な動かし方も相談できます。
12月14日（月）	○歌の日 懐かしい歌などを歌いましょう。	
１月18日（月）	○昔遊び 輪投げやかるたなど懐かしい遊びをみんなで楽しみましょう。	
２月８日（月）	○ボウリング大会 室内で簡単なボウリングをしましょう。	





※食べ物、飲み物はご持参ください。
※お車でお越しの方は、ふれあいの里裏の駐車場までどうぞ。
お問い合わせ：出雲崎町地域包括支援センター ☎0258-41-7211

第10期（令和９年度～令和11年度）介護保険事業計画の策定に向けて



介護保険事業の運営は、3年ごとに計画を立てて実施しており、次の第10期計画では、団塊ジュニア世代が高齢者となる令和22年（2040年）を見据えた計画を策定することになっています。

今回は、昨年度行ったニーズ調査の分析結果を踏まえた町の現状と、第10期計画中に目指す町の姿についてお知らせします。

町の現状と課題

1. 人口、要支援・要介護認定者の状況

人口	要支援・要介護認定者の状況
・当町はすでに総人口、高齢者人口ともに減少しており、今後も減少していく見込みです。 ・高齢者人口が減少している中でも、介護が必要な方が多い85歳以上人口は、令和22年(2040年)まで増加していく見込みです。	・介護認定率は、全国・新潟県と比較して低い状態で推移しています。初回の認定申請年齢は84.3歳で、認定を受けている方の半数は85歳以上の方です。町の高齢者は長く自立して過ごされていることがうかがえます。

2. ニーズ調査等から見えてきた課題

(1)介護予防、健康づくりについて	(2)在宅生活の継続支援と介護者への対応について	(3)町の介護資源について
・基本的な身体機能に関する項目は改善がみられ、健康観が上昇している反面、会食の機会や趣味・生きがいがあると回答した方が減少し、幸福感は低下していました。 ・特に男性で地域とのつながりが少ないと回答した方が多く、男性が活躍する場を増やしていく取り組みを行う必要があります。	・介護３以上になると施設入所を選択する方が多く、入所割合が高くなっています。 ・一人暮らしや高齢者のみ世帯でも、介護者が働いていても、在宅生活が続けられるための取り組みをしていく必要があります。	・事業者数が少ないことに加え、働く世代の人口が減少していることから介護サービスの維持・存続が難しくなる可能性があります。 ・住み慣れた自宅での生活継続に不可欠な在宅サービスを維持するための取り組みを行う必要があります。

～出雲崎の未来を一緒に考える人～　vol３

地方創生に関わる方々がどのような活動を行っているのか、今後も紹介します。



副業型地域活性化起業人
西村（にしむら）　公志（こうじ）　さん

プロフィール

兵庫県神戸市出身　神奈川県三浦市在住
- ノームコアマーケティング㈱ 代表取締役
- (同)インプレションウエアハウス 代表社員
- ㈱ KYOEN 取締役
- (一社)誰もが誰かのライフセーバーに 代表理事
- (一財) 葵プロジェクト 評議員
- 著書「感動できる柔らかなココロがマーケットを創造する」

―出雲崎の第一印象を教えてください。

海と天領、そして良寛さん。自然の風景と、人が育んできた文化が重なる町という印象です。町を知るほどに、海とともに生きてきた人々の時間が、今の暮らしにつながっていると感じます。受け継いできたものの中に、これからの暮らしを豊かにする手がかりがあるのではないか。その問いから、出雲崎の未来を考えています。

―出雲崎の一番の魅力は何だと思いますか。

一番の魅力は、歴史に育まれた文化の豊かさです。とりわけ良寛さんの、人を分け隔てなく見つめるまなざしに惹かれます。文化は、保存するだけでなく、日々の暮らしの中で受け継がれてこそ力を持つと思います。子育てや教育、人との関わりにどう生かせるか。そこに、出雲崎ならではの可能性を感じています。

―現在取り組んでいる地方創生の内容を教えてください。

地方創生では、行政と民間がそれぞれの役割を果たし、ともに町の未来を考える関係づくりが大切だと考えています。役場では、若手職員を中心とした「未来構想意見交換会」の立ち上げを支援し、部署を越えて率直に話し合う場を設けました。民間では、地域の事業を担う組織づくりを支援しています。出雲崎で事業を営む有志による「出雲崎ローカルラボ」は、８月に株式会社ＩＬＬとして法人化されました。対話を通じて課題や可能性を捉え、構想を行動につなげる支援が、私の役割だと考えています。

―10年後の出雲崎をどんな町にしたいですか。

「どうありたいのか」を決めるのは、町民の皆さんです。その思いを行政や議会と共有し、実現への道筋を考える。私たちは、町の特性を捉え、選択肢を広げることで、その過程を支えたいと考えています。10年後も、受け継いだ文化が暮らしに息づき、次の世代もここで暮らしたいと思える。そんな未来を、皆さんと考えていきたいです。

―町民の皆さんへメッセージをお願いします。

自分たちの町の未来を、自分たちで考えることをやめないでほしいと思います。残したい風景や文化も、日々の困りごとも、暮らしを考える入口です。皆さんの経験や思いに、私たちの知見や新しい視点を重ね、可能性を一緒に探していく。意見の違いも、町の未来を考える手がかりになるはずです。対話を通じて、互いを尊重しながら、自分らしく暮らせる町であってほしいと願っています。

副業型地域活性化起業人とは…？？

民間企業で勤務しながら、培ってきた専門的な知識や経験を生かし、副業として自治体の地域活性化に取り組む人材です。民間企業ならではの視点やノウハウを取り入れ、地域の課題解決や新たな魅力づくりを支援します。



空き家ワークショップを開催します

問　総務課　地域政策室（☎0258-78-2290）

空き家の未来を一緒に考えるワークショップを開催します。

日時
- 11月29日㈰　午後１時30分～３時

会場
- 北国街道妻入り会館

参加費
- 無料

講師
- 佐藤 千尋
（慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授）

申込方法
- 上記の二次元コードを読みこみ、必要事項を入力し、お申し込みください。

※「麺処いずも屋」でのお申し込みも可能です。

申込はこちらから



ぐるっと！出雲崎スタンプラリーを開催します

問　総務課　地域政策室（☎0258-78-2290）

出雲崎町の観光MAP掲載施設を中心に二次元コードを設置し、デジタルスタンプスタンプラリーを開催します。

実施期間
- 10月31日㈯～12月31日㈭

利用方法

①二次元コードをスマートフォンで読み取る
②デジタルスタンプを１つ獲得
③ルーレット抽選結果をその場で確認
④景品を「道の駅 越後出雲崎 天領の里」で引換

景品

１等　出雲崎特産品詰め合わせA賞　１本
２等　出雲崎特産品詰め合わせB賞　５本
３等　出雲崎特産品詰め合わせC賞　10本
参加賞　紙風船をプレゼント

スタンプ設置店舗
- 道の駅 越後出雲崎 天領の里
- 北国街道妻入り会館
- 良寛記念館
- The earth with dogs
- ホッと情報館 陽だまり
- 出雲崎レトロミュージアム
- 割烹・なごみの宿 佐平次
- 農家民宿かっちゃん
- 麺処いずも屋
- 良寛さまお菓子本舗 大黒屋
- DIO
- 大衆割烹 味彩
- 菊水食堂
- つるや
- フードセンター出雲崎店
- 石井鮮魚店

※掲載情報は11月２日現在のものです。
今後、参加店舗が追加される場合があります。

第25回 パパママカレッジ



- 日 時　令和8年11月20日(金)
  午前10時～11時30分(受付開始：9時30分)
- 会 場　多世代交流館 きらり
- テーマ「乳幼児期のことばの発達
  ～おとなとのやりとりって？～」
- 担 当　出雲崎町こども未来室 保育士 磯野 綾

今回のみどころ！

▶ たくさん話しかければことばは出てくる？
▶ 赤ちゃんと会話するってどうやって？　等

我が子との“ことば”のやりとりに、悩んでいませんか？
「何て声をかけていいかわからない」「サ行が言えないけど、かわいいから言わせてる」「普段から口が開いているけど、そのうち何とかなるかな」など、身近だけど、どこに聞いたらいいのかわからないお悩みを参加者の皆さんと一緒に“やりとり”しながらお子さんの『ことばの発達』について、お話しします♪

♦保育の申込み♦

未就園児のお子さんについては、スタッフが保育を行います。希望される方は 11月16日(月) までに下記連絡先へお申込みください。

参加申込受付
多世代交流館 きらり
☎0258-86-5580



出雲崎大祭継承保存会会員を募集します

ー楽人指導補助も大募集ー

問 出雲崎大祭継承保存会設立準備会会長　納谷 稔

令和８年３月に「出雲崎大祭の祭礼行列一式」が町指定無形民俗文化財に指定されたことを受け、このたび「出雲崎大祭継承保存会」を立ち上げました。

今年の出雲崎大祭では、多くの方々の協力により、神馬や道祖神が復活し、昔ながらの行列を再現することができました。来年からも引き続き、この伝統を守り、継承していくために、出雲崎大祭継承保存会設立準備会では、会員を募集します。併せて、楽人（チャンチャコチャン）指導者の補助役も募集します。

伝統ある出雲崎大祭を未来へつなぐため、皆さまのご参加・ご協力をお待ちしています。

出雲崎大祭継承保存会の
会員申込はこちらから

多世代交流館きらり

～みんな寄らんば みんなのきらり～





今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
11月8日	9 【きらり工房】 10:00～12:00	10 【いるか教室】	11	12 【よらん場】 10:00～12:00	13	14
15	16 【ヨガ・ストレッチ】 10:00～11:30	17 【きらりhand】 (ネットであそぼう) 10:00～11:30	18	19 【ベビーマッサージ】 10:00～11:00	20 【パパママカレッジ②】 10:00～11:30	21
22	23	24 【よらん場】 10:00～12:00	25	26 【みんなの保健室】	27	28
29	30	12月1日	2 【よらん場】 10:00～12:00	3	4 【おとな園】 (クリスマス飾り) 10:00～11:30	5

きらり写真館

ママと来館した7か月の女児。
目の前の玩具に興味を示し、自分から手を伸ばして触れてみようとしています。
「やってみたい」という思いを大事にしながらママもゆったりかかわっていました(*^^*)



ホームページ　Facebook　Instagram　LINE　X　YouTube

**きらり公式SNS!!
みんなチェック
してね♪**



〒949-4342 出雲崎町大字米田395番地
電 話　0258-86-5580
FAX　0258-86-6466
開館時間　平日 8:30～17:15
休日10:00～16:00

血液が不足しています。献血にご協力を！

問 町民課 町民係（☎0258-78-2294）



11月25日（水）午後1時30分～午後3時30分
（会場：中央公民館 講堂）

現在、血液製剤の在庫が減少し、厳しい状況が続いています。400ml献血を行いますので、１人でも多くの皆さまのご協力をお願いします。

●献血

対象
- 16歳～69歳（体重50kg以上）

※65～69歳の献血は、60～64歳の期間に献血経験のある方に限られます。

●骨髄バンクドナー登録会を併せて行います

受付時間
- 午後１時30分～午後３時

※骨髄バンクドナー登録会受付終了時間は、献血受付終了より30分短くなっていますので、ご注意ください。

対象
- 骨髄バンクドナー登録を希望される方
- 男性：18～54歳・45kg以上
- 女性：18～54歳・40kg以上

献血をご遠慮いただく方
- 海外から帰国して「４週間以内」の方
- 体調不良の方（37.5℃以上の発熱など）

※詳しくは日本赤十字社ウェブサイトをご確認ください。

日本赤十字社

「ラブラッド」から予約するとスムーズに受付できます！
- 献血Web会員サービス「ラブラッド」から献血を予約した方は、事前問診に回答することで受付にかかる時間を短縮できます。
- ご予約は受付の３時間前まで、事前問診は受付の30分前までにお願いします。
- 令和８年１月４日をもって、献血手帳および献血カードの更新・新規発行が終了しました。献血会場での受付や献血記録の確認はラブラッドアプリをご活用ください。

※アプリをお持ちでない方も、引き続き献血の受付は可能です。

詳細はこちら

労働保険の成立手続きを忘れていませんか？

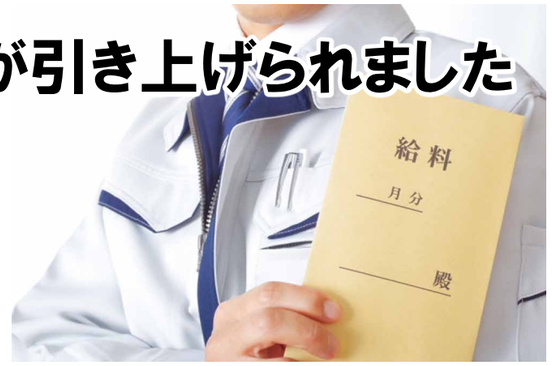
問 新潟労働局労働保険徴収課（☎025-288-3502）



「労働保険」とは、「労働者災害補償保険（労災保険）」と「雇用保険」とを総称した言葉であり、常勤、パート、アルバイト、いわゆるスポットワークなどの名称や雇用形態にかかわらず、労働者を１人でも雇っている事業は原則、適用事業であり、保険関係の成立手続を行う義務があります。

新潟県の最低賃金が引き上げられました

問 町民課 町民係（☎0258-78-2294）



新潟県の最低賃金は1,108円です

新潟県の最低賃金は、10月１日から従来の時間額1,050円から58円引き上げられ、1,108円になりました。

最低賃金は、県内で事業を営むすべての使用者、およびその事業所で働くすべての労働者（臨時、パート、アルバイト等を含む）に適用されます。この機会に最低賃金額を確認しましょう。

また、最低賃金引き上げに向けた生産性向上等への支援に関わるキャリアアップ助成金や働き方改革推進支援助成金、働き方改革推進支援センターの無料相談制度も設けられておりますので、ご相談ください。

お問い合わせ

〇最低賃金に関すること…新潟労働局労働基準部賃金室（☎025－288－3504）

〇業務改善助成金に関すること…新潟労働局雇用環境・均等室（☎025－288－3528）

〇キャリアアップ助成金に関すること…新潟労働局職業対策課助成金センター（☎025－278－7181）

〇働き方改革に関すること…新潟働き方改革推進支援センター無料相談（☎0120－009－229）

電気自動車などの購入費用を一部補助します

問 町民課 町民係（☎0258-78-2294）



町では、2050年カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量実質ゼロ）達成に向けた取り組みとして、「出雲崎町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、個人が電気自動車などを購入する際の費用の一部を補助しています。

対象となる車両・補助額
- 電気自動車（ＥＶ）：10万円
- プラグインハイブリッド自動車（ＰＨＥＶ）：5万円

※クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金業務実施細則別表１で定める車種に限ります。

※申請年度に初度登録された自動車に限ります。

対象者（次のすべてを満たす方）
- 町の住民基本台帳に登録されている方
- 個人で自動車を購入またはリース契約し、自ら使用する方
- 町税の滞納をしていない方

※残価設定ローン及びリース契約の場合、契約期間が４年以上必要です。

申請方法
- 購入を検討されている方は、あらかじめお問い合わせください。

※詳細は町ホームページをご覧ください。



浅田（あさだ） 忠寿（ただひろ） 隊員

◎上空120mから見る出雲崎

農業用ドローンの操作スキルを磨こうと、練習用に小型のドローンを購入してみました。

ネット注文後すぐに届いたものの、重量100g以上の機体だったため、機体登録や各種申請手続きに悪戦苦闘。初フライトを迎えるまでに約2週間もかかってしまいました。

初心者向けとはいえ、特定対象の自動追尾など本格的な機能が満載で、個人としては大満足のクオリティです。とはいえ、機能を完全に使いこなすにはまだまだ先の長いお話になりそうです。農業用ドローンでは高く飛ばしても10mほどでしたが、今回の写真は、吉水・桂沢の田んぼの上空120メートルから撮影したものです。夕暮れ時なら、さらに味わい深い一枚が撮れたかもしれません。



これからもコツコツ操縦練習を重ねて技術を磨き、農作業の現場でもプライベートでも、思い通りにドローンを動かせるよう励んでいきます！

最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付について

問 長岡地域福祉事務所（☎0258-33-4937）

平成25年に行われた生活扶助費の基準額改定に係る最高裁判決を踏まえ、国が定めた新たな基準と当時の基準との差額分を追加給付します。

対象者

・平成25年８月以降の期間において生活保護を受給していた世帯（ただし、平成30年10月以降の期間は一部加算等を受給した世帯に限ります）

※現在、保護を受給していない世帯も対象です

手続き

・現在、生活保護を受給していない世帯は、世帯主から長岡地域福祉事務所への申出が必要です。

※長岡地域福祉事務所への申出が必要になるのは出雲崎町・刈羽村で保護を受給していた世帯のみです。

申出様式

・申出書は新潟県ホームページ「最高裁判決を踏まえた生活保護費等の追加給付について」からダウンロードしていただくか、長岡地域福祉事務所で配布いたします。

申出受付期間

・令和９年７月30日㈭まで

令和7年度ふるさと応援寄附金の実績 より良いまちづくりに活用します

問 総務課　財政係（☎0258-78-2290）

寄附実績 5,058万1千円（1,505件）

いただいたご厚志は令和８年度に実施する次の事業に充当します。

分野	項　目（充当先）	件数	充当額
1	子育て事業 ○ 多世代交流館事業 ○ 入学卒業祝い金	432	1,400万円
2	福祉事業 ○ 社会福祉協議会補助金	105	300万円
3	産業・観光事業 ○ オールシーズンにぎわいづくり・関係人口創出業務委託料 ○ 出雲崎「美食」めぐり実行委員会負担金	164	500万円
4	教育事業 ○ 公設学習塾事業	65	200万円
5	歴史・文化事業 ○ 良寛記念館管理費	75	300万円
6	まちづくり事業 ○にぎわい創出出店促進事業補助金	102	300万円
7	町長が特に定める事業 ○船まつり協賛会負担金 ○妻入りの街並み空き家調査・利活用計画策定業務委託料	543	2,026万9千円
8	クラウドファンディング ○農業法人スタートアップ支援事業補助金	19	31万2千円

電源立地地域対策交付金を活用しました

問 総務課　財政係（☎0258-78-2290）

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の立地地域、周辺地域で行われる公共用施設の整備や住民福祉の向上に資する事業に対して交付されるもので、令和７年度は1,298万6千円交付され、次の事業に充当しました。

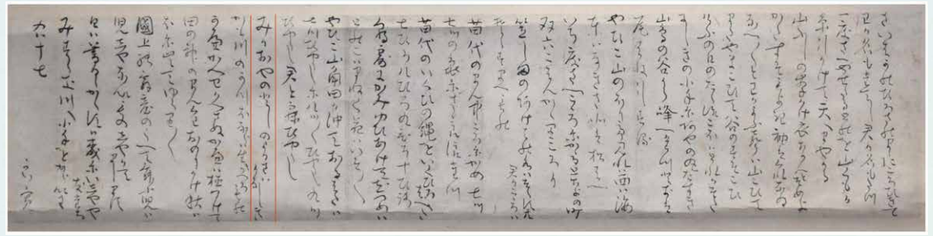
令和７年度の主な充当事業

・ふれあいの里ろ過装置更新事業（625万9千円）
・小学校備品（食器洗浄機）購入事業（396万円）
・小学校校舎棟照明LED改修事業（117万4千円）
・中学校校舎棟照明LED改修事業（89万5千円）
・ふれあいの里研修室等照明LED改修事業（69万8千円）

良寛をたどる。

良寛遺墨和歌『俚謡十七首』の内の第十四首『みかおやの』

このコーナーでは、良寛記念館に所蔵されている良寛に関する作品をご紹介します。



原文

み可おやの登之の与るさい可奈
し幾
か毛川の可川本奈良ハ生き可へ
ろ毛能

読み下し文

身が親の 年の寄る際 悲しき かも川の我
壺ならば 生き返ろもの

意訳

自分の年齢が、亡くなった親の年齢に近づいてくると、いよいよこの世を去らねばならないのかと思い、悲しく感じるのである。それと同時に、生前の親のことが偲ばれるのである。

鴨長明は、方丈記で「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」と「諸行無常」をかも川の流れに譬えた。それでは、もし、かも川を我が壺に入れて流れを留めることができるのであれば、年も取らず、亡くなった親も生き返すこともできるという論になるだろう。

しかし、そんなことはある訳がない。やはりこの世は「諸行無常」なのである

解説

今月は、『俚謡十七首』の第十四首「みかおやの」を取り上げる。本歌は、比較的田植え歌の多い『俚謡十七首』の中で、最も良寛らしい歌と言える。良寛が何時、何処で、何を契機として本歌を詠んだのかを紐解きたい。

良寛は「身が親の 年の寄る際 悲しき かも川の我壺ならば 生き返ろもの」と詠み、「自分の年齢が、亡くなった親の年齢に近づくと、この世を去らねばならないのかと思い悲しくなる。また、生前の親が偲ばれるのである。」としている。そして、鴨長明は『方丈記』で、絶えず流れる賀茂川の流れを譬えとし「諸行無常」を説いている。良寛は、「身が親の 年の寄る際 悲しき かも川の我壺ならば 生き返ろもの」と詠み、「自分の年齢が、亡くなった親の年齢に近づくと、この世を去らねばならないのかと思い悲しくなる。また、生前の親が偲ばれるのである。」としている。そして、鴨長明は、方丈記で「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」と「諸行無常」をかも川の流れに譬えた。それでは、もし、かも川を我が壺に入れて流れを留めておけるなら、年を取らず、亡き親も生き返る」と「諸行無常」を説いている。しかし、そんなことはある訳がない。やはりこの世は「諸行無常」なのである。

しかし、鴨長明は、『方丈記』で「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」と「諸行無常」をかも川の流れに譬えた。それでは、もし、かも川を我が壺に入れて流れを留めることができるのであれば、年も取らず、亡くなった親も生き返すこともできるという論になるだろう。

しかし、そんなことはある訳がない。やはりこの世は「諸行無常」なのである。

制作時期については、良寛の父以南が五十九歳、母秀子が四十七歳で亡くなったことから、両親の没年齢に近づいた四十六歳、または五十八歳頃が候補となる。ただし歌には「我が親」ではなく、「身が親」とし、良寛自身の両親を思いつつも、親を失ったすべての人を対象とした歌にしている。

次に、本歌を詠んだ場所であるが、特定できない。「かも川」という表記と、「諸行無常」の主題から、『方丈記』に登場する京都の賀茂川を連想するが、候補となる年齢の時期に良寛は京都におらず、新潟県中越地方を往来している。本作品の第六首「山鳥の」は現三条市の森山家に伝わり、第九首「笠島の」は現柏崎市笠島地区を詠んでいることから、本歌も越後で詠まれたと思われる。そのことから、現加茂市の「加茂川」という見方も挙げられる。良寛と加茂はご縁があり、良寛の曽祖父良胤（よしたね）は養子で、加茂の庄屋中澤家の出身である。そのこともあってか、良寛は、加茂をたびたび訪れ、「加茂の杜の 杉さへ見れば 過ぎし昔が思はるる」を遺している。しかし、訪問時期と本歌を加茂川畔で詠んだ資料がないため、確証には至らない。また、制作地が加茂川で、歌の内容から『方丈記』の賀茂川を連想し、両方の意味を含めて「かも川」と仮名書きしたという解釈は、やや踏み込んだ推察に映る。

制作の契機については、良寛の詩歌に母を詠んだものはほとんど見られない一方、父以南については後悔をうかがわせる詩歌を多く詠んでいる。また、以南は京都の桂川で亡くなったとされている。それらのことから良寛は、川は異なっても川を見るたびに父を思い出し、その五十九歳という年齢に自らも近づくなかで、この世の無常を感じたのではないだろうか。以上から、父以南の没年齢に近づいたことを機に、本歌を詠んだ可能性が高いと筆者は推察する。

いずれにしても、親の死を回想するだけでなく、自らの死も意識する時期に、川の流れを通して、いのちの無常を見つめた歌と詠めるのである。

良寛記念館館長

良寛記念館

秋のギャラリー音楽会

～エレクトーン・二胡・お琴の調べ～

日時 令和 8 年 11月15日（日）
午前 10 時 30 から（午前11時30分終了予定）

場所 良寛記念館展示館

演奏 【二の風】
エレクトーン奏者 伊藤 和美 （二の風プロ所属）
二胡奏者 高橋 祐二 （二の風プロ所属）
琴奏者 田口由美子 （生田流 箏曲）

参加費 400円（良寛記念館の各種招待券もご利用可能）
※ 出雲崎町民は無料


エレクトーン奏者
伊藤和美


二胡奏者
高橋祐二


琴奏者
田口由美子



【お問い合わせ】 〒949-4342 新潟県三島郡出雲崎町大字米田1番地 「出雲崎町良寛記念館」
TEL 0258−78−2370 FAX 0258−78−4748

お友達や家族とハロウィンを楽しむ

ハロウィン縁日

10月17日㈯に多世代交流館きらりで、ハロウィン縁日が行われました。会場には、射的やスーパーボールすくいなどのあそびコーナーやさまざまな飲食店が並び、大いに賑わいを見せました。また、スラックラインショーと体験会も行われ、初めての体験に参加者は目を輝かせながら挑戦していました。





▲この日で来館者数5万人を迎えました。5万人目の来館者は町内の山澤さんで、感謝状と記念品が贈られました。







▼資料を提示しながら意見を議員に堂々と発表していました



自分たちの意見を伝えよう

出雲崎小学校　交流会

10月8日㈭に出雲崎町役場で、出雲崎小学校6年生と議員の交流会が行われました。児童は考えてきた質問や提案を発表し、自分たちの思いをしっかり伝えていました。議員の皆さんは、小学生の町への思いを真剣に聞いて、回答していました。児童は「普段では体験できないことを体験できて良かった。」と話していました。

▼最終種目の「玉入れタイムレース」の様子



心を一つに！ワンチームで

老人クラブレクリエーション大会

10月5日㈪にふれあいの里で、老人クラブ連合会による、レクリエーション大会が開催されました。3チームに分かれ、5つの競技と応援合戦が行われ、どの種目も熱戦を繰り広げました。チームで声を掛け合い、楽しみながらも真剣な表情で競技に臨む参加者の姿が見られました。仲間と力を合わせ、会場が一体となり、大盛り上がりの大会となりました。

丼が出雲崎に集結！こころもまんぷくに

出雲崎まんぷくまつり

10月4日㈰に、天領の里で出雲崎まんぷくまつりが開催されました。町のブランド米「出雲崎の輝き」を使った9種のミニ丼の食べ比べをはじめ、音楽ライブやダンス、大道芸パフォーマンスなど、さまざまな催しが行われました。約2，000人が来場し、お腹だけでなく、心も満たされる1日となりました。











▲ラーメン積み大会決勝も行われました。最高記録はなんと11個！落ちないように慎重に積み重ねていました。

▼磯部さんは長年更生保護活動に貢献してきました



長年の活動の功績を讃えて

磯部芳江さん　感謝状

磯部芳江さん（大門）に関東地方更生保護委員会から感謝状が贈られました。磯部さんは、約30年間、更生保護女性会の会員として、日頃から地域の犯罪予防や更生保護活動などに寄与されてきました。磯部さんは「皆さんのおかげで賞をいただくことができ、とてもありがたい。」と話していました。

▼祝詞奏上を行い、平和への祈りをささげました



平和な未来を誓う

護国神社　戦没者慰霊・平和祈願祭

9月26日㈮に出雲崎護国神社で戦没者慰霊、平和記念祭が行われました。出雲崎護国神社奉賛会長や町長を始め、人が参列し、英霊を慰め、平和や命の重要性を再認識していました。また、祝詞奏上も行われ、追悼や平和を願いました。

さまざまな音が響く奏でるハーモニー

出雲崎小学校　音楽発表会

10月24日㈯に出雲崎小学校で、音楽発表会が行われました。児童は、平成の名曲やおなじみの合唱曲など、幅広いジャンルの歌や演奏を披露しました。練習の成果を発揮し、一人ひとりが心を込めて歌い、演奏する姿が見られました。会場には美しい歌声や音色が響き渡り、発表が終わるたびに大きな拍手が送られました。





▲各学年の作品展も同時に開催していました。児童によって全く違う作品となっており、見応えがありました。















この瞬間に最高の歌を

出雲崎中学校　音楽発表会

10月22日㈫に出雲崎中学校で、音楽発表会が行われました。初めに吹奏楽部の演奏が披露され、アニメの曲や最近の流行曲などが会場に響き渡り、会場は大いに盛り上がりました。合唱発表会では、各パートの歌声が見事に重なり、美しいハーモニーを奏でました。一人ひとりの気持ちがこもった歌声に、観客もじっくりと聴き入っていました。



▲全校合唱では、「Let's Search for Tomorrow」を歌いました。全校生徒が心を一つにして歌声を響かせ、会場は温かな雰囲気に包まれました。









できた！頑張った！笑顔あふれる運動会

小木之城保育園　運動会

10月10日㈯に町民体育館で、小木之城保育園運動会が行われました。親子で一緒に行う種目や、保護者と対決する種目などが行われ、園児は常に笑顔が絶えず、運動会を楽しんでいる様子でした。最後のリレーでは園児チームが保護者チームに見事勝利し、園児たちは達成感に満ちた表情を見せていました。



▲「しっぽ取り」の様子。保護者は、園児に追いかけられ、一生懸命逃げまわりましたが、終了後はクタクタな様子でした。

▼地方創生の新たな一歩となることが期待されます



誰もが挑戦できる環境を

地方創生　協定締結式

10月15日㈭に出雲崎町・出雲崎町商工会・日本政策金融公庫長岡支店による「業務連携・協力に関する協定」が結ばれました。政策アドバイザー大津俊哉氏の提案によるもので、町内の中小企業や小規模事業者、創業希望者を支援するための協定です。3者が連携し、経営や資金に関する相談、補助金の案内などを迅速に行うことで、事業者が果敢に挑戦できる環境を整え、地域経済の持続的な発展を目指します。

▼講師の動きをまねしながら、振り付けを覚えていました



ダンスの楽しさを知ろう

キッズダンススクール

10月8日㈬にキッズダンススクールが行われました。参加者は、講師から教わった振り付けを細かい部分まで確認しながら、踊っていました。今年で6年目を迎え、講師の磯野詩愛さんは「この教室をきっかけにダンスに興味をもってくれる子が増えて嬉しい。」と話していました。11月3日㈫には、生涯学習フェスティバルに出演し、練習を成果を観客に披露しました。

保健師、管理栄養士の 健やかに 幸せに だより

11月は「にいがた健口文化推進月間」です！

「健(けん)口(こう)」とは、「健やかな口」を意味する言葉です。
お口が健康だと、体にとって良いことがたくさんあります。
心と体の健康を保ち、よく噛んでおいしいものをいつまでも食べられるよう「お口の健康」を維持していきましょう！

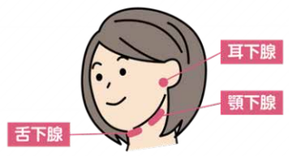
出雲崎町の状況

○「半年前に比べて固いものが食べにくい」が32.0%と、県平均（26.5%）に比べて高い状況です。
（令和７年度健康診断生活習慣病等問診より）
日頃から、よく噛んで食べる習慣を持ち、丁寧な口腔ケアを心がけましょう！

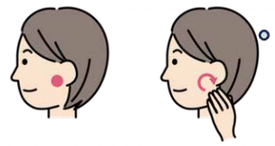
いつもの口腔ケアにプラスワンで健口に！

□食後、ていねいに歯を磨く
□よく噛んでゆっくり食べる
□簡単体操でセルフケア
　唾液腺マッサージ
□歯間ブラシやデンタルフロスを使う
□歯科医院へ定期的に受診する

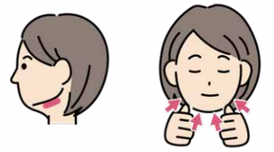




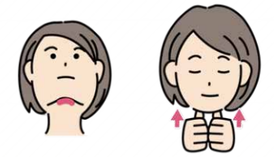
優しい力で
各10回やってみよう



①指を頬に当て、クルクルと円を描くようにマッサージ



②親指をあごの骨の内側の柔らかい部分に当て、耳の下からあごの下まで順番に押す



③両手の親指をそろえ、あごの真下から押す

急患診療のご案内

◇内科・小児科・外科・歯科
【長岡市幸町２－１－１ さいわいプラザ内】

	診療科目	受付時間
休日・夜間急患診療所（☎0258-37-1199）	内　科	月～金曜（祝日除く）18:45～21:30
		日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～16:30
	小児科 外　科	日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～16:30
休日急患歯科診療所（☎0258-33-9644）	歯　科	日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～15:30
中越こども急患センター（☎0258-86-5099）	小児科	月～土曜（祝日除く）18:45～21:30

■産婦人科は在宅当番制（日曜・祝日のみ）となりますので、詳細は休日・夜間急患診療所（☎0258-37-1199）までお問い合わせください。

◇二次病院の休日診療　（11月22日～12月13日）

	8:30～翌日8:30	お問い合わせ
11月22日(日) 12月13日(日)	立川綜合病院	0258-33-3111
11月23日(月) 11月29日(日)	長岡赤十字病院	0258-28-3600
12月６日(日)	長岡中央綜合病院	0258-35-3700

※「二次病院」は一般の医院・診療所では対応できないような比較的症状の重い救急の患者さんが対象です。

お知らせ

●急患診療
●医療電話相談
●もの忘れ、こころの相談会



11/19㈬、12/10㈬
もの忘れ、こころの相談会

◇会場　ふれあいの里
◇時間　午後2時～４時
◇担当　田中　弘　医師（三島病院）
◇その他
・秘密は固く守られます。
・完全予約制です。
（相談を希望される方は事前に予約をお願いします。）
【お申込み・お問い合わせ】
・役場保健福祉課　保険健康係（☎0258-78-2293）

夜間に救急車を呼ぶ？ 病院に行く？ 迷ったときは・・・

15歳未満のお子さん

小児救急医療電話相談

#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは
025-288-2525

相談時間：・月曜～土曜 18時～翌朝８時 ・日曜、祝日 ８時～翌朝８時

相談内容：お子さんの急な発熱、けがなどに関する相談

【お問い合わせ】
新潟県福祉保健部地域医療政策課
（☎025－256－8924）

大人（概ね15歳以上の方）

救急医療電話相談

#7119

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは
025-284-7119

相談時間：・月曜～土曜 18時～翌朝８時 ・日曜、祝日 ８時～翌朝８時

相談内容：発熱、頭痛、腹痛、吐き気など急な病気やケガなどに関する相談

経験豊富な看護師などが医療機関の受診の必要性や、対処法などについて助言します。

※この電話相談は、診療行為ではなく、電話での助言により相談者の判断の参考としていただくものです。



11月は新潟県拉致問題等啓発月間です

拉致問題等の早期解決には、国の取組を後押しするため、世論を一層喚起していくことが重要です。皆さま一人ひとりから、拉致は決して許さない、そして一日も早く、全ての拉致被害者を取り戻すという強い決意が表明されることは、この問題の解決に向けた力強い後押しとなります。

拉致問題等に対する関心や理解を深めていきましょう。

※啓発月間に県内で行われる啓発活動については、新潟県国際課拉致問題調整室のホームページをご覧ください。

詳細はこちらから

■お問い合わせ
・県国際課拉致問題調整室（☎025―280―5876）

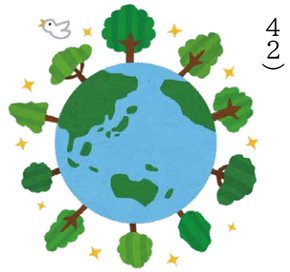
にいがた環境フェスティバル2026

県では、脱炭素社会の実現に向け、自然との共生や資源循環についても理解を深め、環境に優しいライフスタイルの実践につなげる「にいがた環境フェスティバル2026」を開催します。ぜひご来場ください。

■日時
・11月28日㈯　午前10時～午後4時

■会場
・JR新潟駅CoCoLo新潟内ガタリウム新潟駅南口中央広場

■内容
・Negiccoトークイベント
・新潟県環境賞等表彰式の実施及び作品展示
・LED電車ライト工作教室
・トウクトウク試乗体験　など



■お問い合わせ
・県環境局環境政策課（☎025―280―1562）

消雪パイプの適正利用について

道路や駐車場などに積もった雪を溶かす消雪パイプは雪国の生活に欠かせないものです。消雪パイプの水は、地下からくみ上げた地下水を使用していますが、地下水を使いすぎると地盤沈下が発生します。地盤沈下は徐々に進行していくので日常の生活の中ではなかなか感じにくいものですが、一度沈下した地盤は元には戻りません。長期的には建物や配管等の損壊、洪水・高潮時の浸水増大などの被害をもたらす危険性があります。

地盤沈下を防止するためには、地下水の節水が重要です。水の勢いを必要以上に強くせず、雪が止んだら水を止めるなど、日頃から節水を心がけましょう。

■お問い合わせ
・県環境局環境対策課環境保全係（☎025―280―5154）

空き家・空き地ご相談ください
新潟県知事許可（1）第5709号
㈱中越建設 不動産部
☎ 0258-78-2191
（広告）

お客様の「困った…」を良かった!!に。
灯油配達は 新潟サンリン におまかせ下さい!!!
住宅関連 水周り リフォーム工事 快適住まいの何でも屋さん
この看板が目印です!!
新潟サンリン株式会社 ライフエイド出雲崎
ニイガタサンリン 0120-72-2130
（広告）

パスキーを利用しましょう！

実在のサイトや官公庁を名乗ってSMSや電子メールを送って偽サイトに誘導し、ID・パスワードやクレジットカード番号などの情報を盗むフィッシング詐欺や不正アクセスの被害が後を絶ちません！

・パスワードを覚えるのは大変だから同じパスワードを使いまわしている。
・届いたメールは全部開いて確認している。
・とりあえず届いたメールのリンクを開く。

そんなあなたは要注意！

フィッシング詐欺や不正アクセスの被害に遭う可能性大です！

「パスワードを覚えるのが大変で…」そんな時は、パスキーを利用しましょう。

パスキーはスマホやパソコンなどの端末に保存された固有の鍵と指紋・顔認証を併用して認証する方法で、パスワードを覚える必要がなく、他の端末から不正にログインされにくいため、安全にサイトに接続できます。

パスキーが導入されているサービスでは、ぜひパスキーを利用しましょう！

・身に覚えのないメールは開かない。リンクは開かない。
・実在するサイトへは公式アカウント又は公式アプリを利用する。

■お問い合わせ
・県警察本部サイバー犯罪対策課（☎025―285―0110）

俳句ポスト（入選句）

小さきも咲き上りたる葛の花　藤田　孝　さん

わが漁師ひき継ぐ孫や空高し　石田　富男　さん

納税はお忘れなく！

今月の町税等の口座振替予定日は、
11月27日㈭です。
※再振替日は12月10日㈬です。

戸籍の窓

※戸籍の窓への掲載については、届け人の希望により掲載しない場合があります。
令和8年10月1日～10月31日までの届出分・敬称略

丈夫な良い子に

美燈（みと）　8.10.3　　北谷　三樹（大　門）

追　悼

髙橋百合子	91	9.30	百合子（特　養）
遠藤　保男	88	10.1	保　男（藤　巻）
加納　光美	89	10.6	光　美（川　東）
坂井イサ子	79	10.4	イサ子（下小竹）
山田　　昭	99	10.9	昭（吉　水）
小黒　貞子	87	10.17	淳（諏訪本町）
阿部　政徳	68	10.20	政　徳（井鼻2区）
小林　澄枝	95	10.23	澄　枝（山　谷）
内田　武久	81	10.24	知　也（吉　川）
田中　能成	65	10.26	能　成（尼瀬3区）

人口のうごき

人　口	3,663人	（−13）
男	1,777人	（− 6）
女	1,886人	（− 7）
世帯数	1,595世帯	（− 6）

出生	1人	死亡	12人
転入	7人	転出	9人

令和8年10月31日現在住民基本台帳
（　）内は前月比

空き家・空き地の情報をお願いします！

町では「空き家・空き地情報バンク」を開設しています。「空き家・空き地を売りたい、貸したい」という方がいらっしゃいましたらぜひご連絡ください。

町空き家・空き地情報バンク

【お問い合わせ】
町総務課地域政策室（☎0258-78-2290）

新聞配達スタッフ 募集中
自動車で配達
健康的な朝のルーティーン
家計の足しに
時間休日等応相談
60歳代歓迎！まずは、お電話ください！
出雲崎町川西58
（株）つるや　西越新聞販売店　☎0258-78-2233
（広告）

広報いずもざき11月号/No.618
とじる・保存する・しあわせ！
令和8年11月6日発行
◆発行・編集
出雲崎町　総務課
〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140
☎(0258)78−3111　FAX78−4483
https://www.town.izumozaki.niigata.jp

優良・優秀運転者表彰の申請を受け付けます

問 町交通安全協会事務局(役場総務課内)（☎0258-78-2290）

町交通安全協会では、多年にわたり安全運転に努めた優良・優秀運転員表彰の申請を下記のとおり受け付けます。該当する方は期限までに申請してください。

表彰の種類

・優良運転者表彰　10年表彰
・優秀運転者表彰　20年・30年・40年・50年表彰

申請者の資格・要件

・現に交通安全協会の会員であること。
・申請する「表彰年数」以上の運転経歴を有し、過去当該年数の間、継続して交通事故及び交通法令違反がない運転者であって、具体的には次の要件を満たしていること。

①50年表彰は40年表彰を、40年表彰は30年表彰を、30年表彰は20年表彰を、20年表彰は10年表彰をそれぞれ受賞していること。

②上記表彰は、受賞歴がなくても申請できますが、申請に相応する期間以上継続して無事故・無違反の場合に限ります。

③受賞歴がある方については、「過去10年以上の間継続して交通事故及び交通法令違反がなく、かつ、前回受賞日から今回受賞予定日まで10年以上経過していること。」が条件となります。

期間の計算等

・無事故、無違反の年数計算は、申請日現在で行ってください。。
・交通事故や交通法令違反で、行政処分を受けた場合の運転経歴の起算日は、処分が終わった翌日となります。

申請期間

・11月６日㈮から12月４日㈮まで

申請場所

・役場　総務課　財政係

持参するもの

・運転免許証

天領の里「時代館」、「石油記念館」が休館します

問 越後出雲崎 天領の里（☎0258-78-4000）

道の駅「越後出雲崎 天領の里」内の「時代館」および「石油記念館」は館内空調設備修繕工事のため、右のとおり休館とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いします。



休館対象施設

・越後出雲崎天領の里　時代館
・石油記念館

※物産館、レストラン等は通常通り営業しています。

休館期間

・11月４日㈬～12月２日㈬

営業再開

・12月３日㈭　午前10時～

編集後記

中学校体育祭では、仲間と力を合わせながら競技や応援に全力で臨む姿が印象的でした。私も「躍動する姿をカメラに収めるぞ！」と撮影に臨みました。しかし、一歩踏み出した瞬間、全くついていけず、いつの間にか怪我しないよう省エネモードに移行していました。改めて中学生との差を感じました。体育祭をはじめ、仲間と一生懸命に取り組んだことは、一生の宝物となるはずです。３年生は残りの学校生活を悔いなく過ごしてほしいです。

最近、ＳＮＳで石井神社から望む景色が絶景だと話題になっています。その美しい景色を写真や動画に収めようと、多くの方が訪れています。この景色をきっかけに、出雲崎を知り、訪れる方が増えていることを嬉しく思います。

（大矢）